

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者
 住 所 東京都江戸川区南葛西7-2-54
 氏 名 理事長 来栖宏二

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章1(1)①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名	アゼリーアカデミア江戸川							
2	学童クラブの所在地	郵便番号	134-0087	住所	東京都江戸川区清新町1-1-40 2階				
3	設置・運営形態	民 設 民 営							
4	設置主体	名称	学校法人アゼリー学園						
		住所	郵便番号	134-00085	住所	東京都江戸川区南葛西7-2-54			
		代表者	理事長 来栖 宏二						
5	運営主体	名称	学校法人アゼリー学園						
		住所	郵便番号	134-00085	住所	東京都江戸川区南葛西7-2-54			
		代表者	理事長 来栖 宏二						
6	学童クラブ事業開始年月	令和	8	年	4	月			
7	認証学童クラブ事業開始年月	令和	8	年	4	月			
8	(※1) 支援単位ごとの状況	アゼリーアカデミア江戸川	専用区画面積	(部屋名)	64.65	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)	1.65	m ²
			児童数	39名					
			職員体制	放課後児童支援員(常勤)	2	名	放課後児童支援員(非常勤)	2	名
補助員(常勤)	1	名		補助員(非常勤)	4	名			
9	開所時間	平日	放課後から	20時	まで				
		土曜日・長期休業期間	7時	から	20時	まで ※土曜日は19時まで			
10	国庫補助の有無	有							
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無	有							
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無	有							
13	長期休業期間中の昼食提供	有	夏季休業期間	35	日間提供	提供方法	学童クラブ外部からの搬入(学童クラブによる手配)		
				35	(夏季休業期間の全日数)				
		有	冬季休業期間	10	日間提供	提供方法	学童クラブ外部からの搬入(学童クラブによる手配)		
				10	(冬季休業期間の全日数)				
有	春季休業期間	13	日間提供	提供方法	学童クラブ外部からの搬入(学童クラブによる手配)				
		13	(春季休業期間の全日数)						
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有(別紙様式2のとおり)						
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有(別紙様式2のとおり)						
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無	有	令和	12	年度	受審予定			
16	直接契約の有無(民設民営の場合のみ)	有							
17	利用料	月額	14000	円					
		協議書提出有無(月額利用料14,000円を超過する場合)							

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、第1号様式乙に記載ください。

活動内容の詳細

第1号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容	
毎月1回出席児童による「児童会議」を運営時間内で実施し、前月の活動の振り返りを行うとともに、次月の目標を建てる。また、今後挑戦してみたい学習や体験、遊びについて意見交換する機会を設ける。児童からの意見は、職員会議で職員間で共有し、教育効果、安全、費用面を十分に検討し、企画書や指導案を作成し、実施する。	

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数	具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎日	下校後は、幼稚園の園庭に出て自由に身体を動かして遊べる時間を設ける。鉄棒や、縄跳び、長縄、ボール、鬼ごっこなど好きな活動をできる環境がある。
「製作活動等」	毎日	教材室には、折り紙や色鉛筆、マジック、毛糸や廃材など様々な物品や教材を準備している。それを自由に使って友達と作ったり、楽しむ時間がある。STEAM保育の一環として、通室時間の中で実験を楽しんだり、興味のある物を友達と作り上げるような時間も設ける。絵画は、定期的に外へスケッチしに行くなど、季節や環境の変化に目を向けられるような働きかけも行う。
「地域の文化等に触れる体験」	2回	地域のお祭り・盆踊りへの参加や見学 神社・お寺の年中行事（節分、七五三、初詣など） 地域の伝統行事を園で再現（餅つき、正月遊び、七夕行事 など） 「この町では、こういう行事があるんだ」と知る体験を取り入れていく 更に、地域の方に昔の遊びを教えてもらう交流会や、商店街への買い物体験などを通して交流を持てるようにする
「自主学習」	毎日	下校後、15時30分～を目安に宿題に取り組む時間や読書をする時間を設ける。通っている塾や、他の習い事の宿題に取り組む事も可能。
「児童の意見を反映させた行事」	4回	お楽しみ会等の行事については、児童が主体的に参加できるよう「何をしたいか」を児童同士で話し合う機会を設け、出し物の内容や遊びの種類、役割分担等について意見を反映しながら企画・実施していく。これにより、児童が自ら考え協力して活動する態度の育成を図る。 具体的な行事の例としては、季節に応じた新入所児童歓迎会、ミニ夏まつり（水遊び、ゲームコーナー、制作活動等）、運動遊びを中心とした交流行事、ハロウィンイベント、クリスマス会やお楽しみ会等を想定している。また、日常の活動の延長として誕生日会や工作イベント、簡単な劇やダンス等の表現活動の発表の場を設けることも予定している。 行事の実施に当たっては、支援員が児童の発達段階や興味関心を踏まえながら話し合い活動を支援し、安全面に十分配慮した環境の中で、児童が安心して参加できるよう運営する。さらに、司会や係活動（日直・清掃等）についても希望制や話し合いによる決定の機会を設け、主体性や社会性の育成につなげていく。

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	はい	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	はい
---------------------	----	-------------------------	----